

じょうようのふくし

城陽市社協
マスコット

あ 社協だより



～あの人を幸せに 私を幸せに～

共同募金配分金で作成しています

発行 社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会
城陽市寺田東ノ口17 福祉センター1階

TEL 0774(56)0909

平成30年 春 発行

FAX 0774(56)2800

第123号

<http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/>

ボランティアフェスティバル 今年も大盛況でした

福祉ボランティア活動を市民の皆さんに知ってもらふことや、活動者同士の交流を目的に毎年開催しています。

今年で6回目を迎え、年を重ねるごとに盛大になっており、当日は250名を超える方の参加があり、みんなで交流しました。



開会式にはじょうりんちゃんが登場



手話サークル「めだか」の手話歌



車いす介助グループ「杉の子会」の車いす体験



城陽おはなしサークルの読み聞かせ



関西盲導犬協会による講演



㈱三笑堂・㈱ユーヒナ奈良の福祉機器体験



介護支援サークル「やわらぎ」のやわらぎサロン



朗読ボランティア「陽声」の朗読劇



閉会式 手話サークル「てまり」の手話歌

深谷校区社協

自分の思いを口にできる・共感しあえる

新しいサロンが 始まりました！



ご近所サロン

深谷校区社会福祉協議会では、城陽市内で最も早い平成5年から「ふれあいサロン深谷（当初の呼び名は“ミニ陽寿苑”）」を定期的に開催されています。この度、もっと身近な範囲で「ご近所サロン」と題したサロン活動が、隣近所の方々と“ほっと一息”気軽におしゃべりしませんか？との呼びかけでスタートされました。このサロンの特徴は、毎回ゲストとテーマを決め、ゲストのお話が全体の3割で、残りの7割が参加者の質問・情報交換のフリートークをメインとしているところです。昨年の11月から今までに、城陽台と友が丘の2か所で行い、今後も校区内の各地で開催される予定です。



ご近所サロン 今後の大まかな予定 参加費有 申込不要

コーヒー飲んでお菓子たべて最近気になること、ご近所同士でペチャクチャしゃべりましょう

時間：13時半～15時
日にち：未定
場所：未定
その他：100円（お茶代）

4月 テーマ あなたがいつか一人身になった時！どんな心配事が出てくるの？どうやって楽しく過ごしていくの？その秘訣は...?!
ゲスト 一人身で超充実人生を謳歌している〇〇さん

5月 テーマ 忍び寄る病気（がん、認知症、ひざ、腰、胃腸等）
ゲスト さあ あなたの経験話してくれませんか！
看護師の〇〇さん、〇〇さん

※ご興味のある方はぜひ、市社協(56-0909)までお問合せください。

▼ふれあいサロンとは...?

地域の住民さん同士で気軽に集まれる場所をつくり、地域の「仲間づくり」「出合いの場づくり」「健康づくり」をするための活動です。

声

活動者のご紹介 ご近所サロンの立ち上げから運営などにご尽力されている方たちです

今、大災害・子育て・介護・認知症等でご近所が互いに助けあうことが求められる時代となり、盛んにご近所どうしの助けあい“共助”が叫ばれています。まずはその第一歩として隣近所の人と人が互いに親しく仲良しになることが必要だと思われま。そのきっかけとして始めました。

参加者同士が仲良くなって、云わば「現代版長屋人情のある町」を作る下地になればと願っています。そしていつか、参加されている方から「もっと月に何回もしたいので私たちでご近所サロンをします」と言ってもらえればと思います。

発起人



■福祉部 副部長
梶村 健さん

深谷校区の高齢化率は40%を超える「先進高齢地区」、まさに地域の福祉力が「問われる」・「求められる」現状です。

この度、自治会の協力もいただける環境が整い「身近なところで」「身近な話題で」ご近所の交流の「場づくり」として福祉部を中心に「ご近所サロン」の提案があり開催することになりました。

当校区社協では「ふれあいサロン」や「ぬくぬくひろば」を開催しており、地域のみなさんの交流の場として大変喜ばれております。この実績も加味し「ご近所サロン」を育てていきたいと思っております。



■会長
梅岡 宏史さん

各自治会のご協力のもと各々の集会所をお借りして開催しました。

フリートークでは、ご家族を在宅で介護されている方からの切実な生の声を始め、地域住民同士の自然な日常の繋がりを求める声など、実に様々な思い・ご意見が出され、介護に関する地域住民の関心の高さを改めて感じております。

すぐに解決できることばかりではありませんが、このように地域で暮らす方々が気さくに思いを伝えあえる場が、今最も求められていると感じ、当サロンを引き続き校区内各地で開催して行きたいとの思いを更に強くしているところです。



■福祉部 部長
上原 敏さん



参加者のご紹介

話しあいのきっかけにと、介護事業所と地域包括支援センターの方のお話を聞き、家族の介護や自分のこれからを考える上で参考となりました。また、介護経験のある方、現在介護をしている方のお話は当事者ならではの重みがあり、深い共感を覚えました。少しでも自分の思いを口にできる場がある、共感しあえる関係が作られているということが、今とても大切だと思っており、この集いに期待を寄せています。

その他にも、深谷校区ではこんなサロンがあります

★ ふれあいサロン・深谷 無料 申込不要

全国社会福祉協議会が「ふれあい・いきいきサロン」を推奨する以前から活動されている歴史あるサロンで、手芸や折り紙、喫茶コーナーなど楽しい雰囲気です。また、保健師さんや看護師さんの血圧測定と健康相談などもあります。深谷校区の方どなたでもお気軽に来てください。

日時：毎月15日・30日 13:00~16:00
場所：深谷福祉ふれあいセンター ※**P**無し
その他：無料、手芸のみ実費負担



★ 井戸端子育て「ぬくぬくひろば」参加費有 申込不要

午前中には読み聞かせ、午後にはおやつの時間などでほっこり。口コミで青谷の方からも来られている親子もいるそうで、とてもオープンな雰囲気です。赤ちゃんをはじめ、おじいちゃん・おばあちゃん、妊婦の方など、どなたでもお気軽に来てください。

日時：毎週水曜日 10:00~15:00
15日、30日の水曜日はお休み
場所：深谷福祉ふれあいセンター ※**P**無し
その他：200円（お茶代など）



老人福祉センターのイベント

対象者は全て60歳以上の城陽市在住の方です

陽寿苑 問合せ・申込み：55-1017

<趣味の教室> 日時決定次第苑内掲示します

○絵手紙教室 無料 要申込

毎月第2木曜日 10:00~12:00

(日程変更の場合有り。)

○ヨガ教室 無料 申込不要

日時未定

○陶芸教室 参加費有 要申込

日時未定、材料費500円



※各苑駐車場がなかったり、満車になりやすかったりするため、老人福祉センター送迎バスのご利用をおすすめしています。ぜひご活用ください。

陽和苑 問合せ・申込み：52-9670

<レクリエーション> 日時決定次第苑内掲示します

○ふれあい「子供の日」 無料 要申込

4月下旬 10:00~11:00

園児さんご利用者さんで「こいのぼり」をあげ、その下で「通りゃんせ」で触れ合う

○「ホウ酸団子」作り 参加費有 要申込

5月中旬 10:00~12:00、材料費100円程度

○輪投げ大会 無料 要申込

6月中旬 予選 1週間 10:30~14:30

決勝 1日 13:30~14:30

<月間行事>

○物忘れ予防教室 無料 要申込

毎月第4金曜日 奇数月は10:30~12:00

偶数月は14:00~15:30



陽東苑 問合せ・申込み：53-3700

<週間行事>

○ビデオ健康講座・健康体操

月・金曜日 10:00~

○カラオケ

火曜日 午前中

○ラジオ体操

土曜日 10:00~

<月間行事>

○フラワー教室

第2水曜日 午前中

○認知症予防ゲーム

第3木曜日 13:30~14:30

全行事 全行事
無料 申込不要



陽幸苑 問合せ・申込み：53-9393

<レクリエーション> 日時決定次第苑内掲示します

○お花見 参加費有 要申込(3月中旬~)

4月上旬、昼食代1,000円程度

○西城陽中学校との交流会(2年生職場体験) 無料 申込不要

6月上旬

○介護予防教室 無料 要申込

日時未定(広報じょうようにてお知らせ)

※問合せ・申込みは西部包括支援センター(55-7222)



～第39回 城陽市社会福祉大会の報告～

2月3日(土)に第39回城陽市社会福祉大会を開催しました。第1部の式典では下記受賞者86名・団体の表彰を行い、第2部の第12回児童・生徒の福祉作文コンクール表彰では表彰後、次ページの最優秀賞作品の発表、第3部の講演では、アナウンサーで僧侶の川村妙慶氏の面白くて心が和むお話をいただきました。

《第1部 式典 被表彰者》 順不同・敬称略、()内は推薦団体

1. 城陽市長表彰(4名)

社会福祉事業功労者(4名)

西平 智恵子 (校区社会福祉協議会) 藤井 英子 (校区社会福祉協議会)
田中 達夫 (校区社会福祉協議会) 長澤 久充 (校区社会福祉協議会)



市長表彰 (左)長澤氏 (右)奥田市長

2. 城陽市社会福祉協議会会長表彰(32名)

社会福祉事業功労者(32名)

川越 淳子 (校区社会福祉協議会)	羽室 敏子 (校区社会福祉協議会)	奥村 君子 (校区社会福祉協議会)
石立 さだ子 (校区社会福祉協議会)	熊谷 佐和美 (校区社会福祉協議会)	島田 美智子 (城陽市母子寡婦福祉連合会)
小沼 欽一 (青谷学園)	谷川 千華 (青谷学園)	梶本 恵子 (梅林園)
松本 雅詞 (梅林園)	本田 とし子 (梅林園)	千葉 一志 (梅林園)
大槻 泰正 (梅林園)	塚脇 康宏 (京都府立心身障害者福祉センター)	保富 勢津子 (京都府立心身障害者福祉センター)
武長 祥子 (清仁福祉会)	姫嶋 陽子 (清仁福祉会)	高木 奈津子 (清仁福祉会)
石田 大輔 (清仁福祉会)	橋本 祐理子 (清仁福祉会)	上田 智佳子 (清仁福祉会)
新野 恵美 (清仁福祉会)	川地 洋子 (清仁福祉会)	
野田 美久 (清仁福祉会)	福永 範子 (清仁福祉会)	
中山 淑子 (校区社会福祉協議会)	大目 昌子 (ボランティア連絡協議会)	
原 圭伊子 (市社協)	村田 洋康 (市社協)	
三崎 功子 (市社協)	佐藤 ケサヨ (市社協)	
匿名 1名		



会長表彰 (左)島田氏 (右)鈴鹿会長

3. 城陽市社会福祉協議会会長感謝状(27名 23団体)

社会福祉事業奉仕者 個人(24名)

藤澤 富子 (校区社会福祉協議会)	岩崎 富美枝 (校区社会福祉協議会)	南 隆子 (校区社会福祉協議会)
柴田 栄子 (校区社会福祉協議会)	田畑 久美子 (校区社会福祉協議会)	吉田 記世 (校区社会福祉協議会)
安村 みどり (校区社会福祉協議会)	音瀬 里美 (校区社会福祉協議会)	今城 富子 (校区社会福祉協議会)
来田 慶子 (校区社会福祉協議会)	春名 由紀 (校区社会福祉協議会)	小谷 千佳 (校区社会福祉協議会)
野中 健市 (校区社会福祉協議会)	安田 行雄 (市社協)	安見 佐登子 (校区社会福祉協議会)
木村 弘子 (校区社会福祉協議会)	前川 ひさ (校区社会福祉協議会)	
近藤 弘子 (校区社会福祉協議会)	中川 文子 (校区社会福祉協議会)	
瀬古 公二 (ボランティア連絡協議会)	影山 恵 (ボランティア連絡協議会)	
後藤 裕子 (ボランティア連絡協議会)	吉岡 浩美 (ボランティア連絡協議会)	
土谷 百恵 (市社協)		



会長感謝個人 (左)瀬古氏 (右)鈴鹿会長

民生委員・児童委員奉仕者(1名)

青山 千寿子

社会福祉事業奉仕者 団体(21団体)

東大將軍自治会	嫁付団地自治会
里ノ西自治会	芝ヶ丘自治会
つつじヶ丘自治会	友が丘自治会
宮ノ谷自治会	井戸端子育て「ぬくぬくひろば」
市ノ久保自治会	城陽駅前商店街自治会
玉池自治会	庭井団地自治会
ひまわり自治会	樋尻第二自治会
樋尻第三自治会	富の里自治会
府宮水主団地自治会	東富野自治会
市辺自治会	匿名 1団体

大將軍自治会



会長感謝団体 (左)大將軍自治会 会長 雲丹亀氏 (右)鈴鹿会長

社会福祉事業奉仕者 大口寄付(2名 2団体)

(故)徳尾 榮一
木田 慶子
全京都建築労働組合 洛南支部
関西遊技機商業協同組合



↑式典の会場の様子

←会長感謝寄付(左)木田氏 (右)鈴鹿会長

《第2部 第12回児童・生徒の福祉作文 最優秀賞》

「思いやりのある社会づくり」

古川小学校 六年 雨山 直香

最近よく電車で元気な若い人たちが優先座席に座り、高齢者に席をゆずらない人がいます。また、周りの人のことを気にせずにタバコを吸う人もいます。その他にも思いやりを持たない行動をする人を見かけることがあります。そんな時私は「どうして思いやりを持つことができないんだろう。」と思います。

高齢化社会が進んでいる日本では、この先もっと高齢者が増えていくことが予想されます。そのような状況の中で、優先座席に座ったり、席をゆずることのできない人が増えると社会は大変なことになると思います。

タバコは吸っている人だけでなく、周りの人にも悪い影響を与えます。それでも周りの人を気にもかけず吸う人がいます。タバコを吸える年齢を引き上げることも必要かもしれません。

他にも自転車で車道の左側を走らず、右側や歩道

を走ったり、または二列で走ったりすることも歩行者や車の迷惑になります。それでもやってしまう人は許せないし、思いやりの心を持ってほしいです。

また、最近、目の見えないう人が、ホームから転落するなどのニュースを聞きます。もし身近に目やもしくは何か不自由をしている人がいたら助けてあげることが必要だと思えます。不自由な人にとってみれば、とても助かるはずで、ほんの小さなことでもいいので、「お手伝いをしましょうか。」と、聞いてあげるその気持ちを持つことが大切だと思います。

思いやりの心は、日本だけでなく世界でも通用すると思えます。日本語と外国語とでは、言葉が通じることはないかもしれませんが、しかし、思いやりの心は世界のどこの国でも通じると思えます。なぜなら、言葉は自分の国の言葉しか話せない人が多いかもしれませんが、思いやりの心は、だれにでも同じよう

に持つことができるからです。思いやりの心は「国境」というかべをこえることのできる強さをもっているのです。

そして、思いやりの心というものはとても簡単に持つことができます。例えば、重そうに持っている人の荷物を持ってあげる、なやんでいる人の話を聞いてあげたり助けてあげたりする、災害などにあった人のために地域のボランティアに参加することなどが考えられます。もっと身近なことでもいろいろあると思えます。

私は、一人ひとりの思いやりが増えることが地域の幸せにつながり、それがどんどん広まって国全体を幸せにすることになると思っています。日本が幸せになると、それが世界に広まって、全世界が幸せになるかもしれません。

世界一幸せな国として有名なブータンという国を知っていますか。ブータンはインドの北部に位置する国で、ヒマラヤ山脈が近くにある標高の高い国です。このブータンは自分たちが幸せであると感じ

ている人の割合が世界一多い国なのです。決して経済的にとても裕福ということはありません。そして、ブータンの人もなやみや悲しみを持っているはずで、ではこの国の人々が自分が幸せであるという理由は何なのでしょう。ブータンの人は、周りの人の幸せが自分の幸せでもあると言うのです。自分のことだけではなく、家族や友達の幸せを願ったり、そのために行動したりするのです。これは最高の思いやりではないかと思えます。そして、その最高の思いやりを持つ人が多いのだから幸せな国になるんだなと感じました。

思いやりを持つことはとてもすてきなことだと思います。それはだれもが簡単に持つことのできる心です。この心をだれもが持って世界が平和ですてきなものになってほしいと願っています。



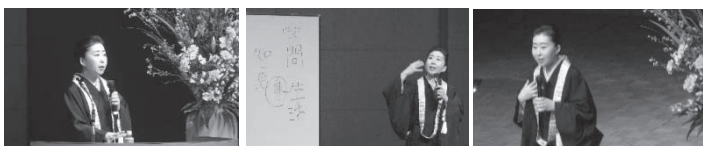
(雨山 直香さん)

《第3部 講演「心の和～安心して生きていける居場所～」

講師：川村妙慶氏》

KBS ラジオの毎週土曜朝8時「心が笑顔になるラジオ」でおなじみ、僧侶でアナウンサーの川村妙慶氏に講演いただきました。

講演では、他者を変えるのではなく、自分の意識を変えること、柔軟性を持つことが心の豊かさ・暮らしやすさになることをお話ししていただきました。



全国社会福祉協議会会長表彰

平成29年度全国社会福祉大会が11月22日に開催され、城陽市内では民生委員・児童委員功労の部で一井温子氏(城陽市民生児童委員協議会)に全国社会福祉協議会会長表彰が授与されました。この表彰は、多年にわたり社会福祉及びボランティアの各分野の発展に功労された方々に対し贈られます。

表彰伝達式
(左：本会鈴鹿会長、
右：一井氏)



「高齢者の方の感謝の気持ち」 南城陽中学校 二年 北城 由莉亜

「ありがとう」この言葉は、私が介護が必要な高齢者の方のための施設に職場体験学習で行ったときにかけていただいた言葉です。

私は職場体験の初日の朝、ものすごく心配でした。私は声が小さく、はきはきと話すのが苦手なので、高齢者の方に話しかけても聞こえないかな、「何をごによごによ話してるんだ」と怒られるかな、と不安でたまりませんでした。

最初の日、必死になって仕事を手伝っていると、担当の方から「あの人に話しかけておいで」と指示をもらいました。とても緊張しながら挨拶をすると、その人は笑って優しく話してくださいました。そして、話に一段落ついたので、お辞儀をして戻ろうとした時、その方が「ありがとう」と私に言いました。正直、びっくりしました。なぜなら、私は全然面白くない話をしてしまい、退屈だろうなあ、と思っていたからです。

ただ話をしただけなのに、私は「ありがとう」と言われたその方の顔が笑顔だったことが印象的でした。

二日目、担当の方の後ろを追いかけて歩いていると、突然、ある高齢者の方に肩をトントンとたたかれ呼び止められました。急だったので驚いて振り向くと、その方はこちらを見て泣いていました。私は、ぶつかってしまったのかなと焦りましたが、その人は私が「働く」ということを学んでいる姿に感動して泣いてしまったというのです。そして、その方は泣き顔から笑顔になって「ありがとう」と言われました。私は何もその方に話しかけたわけでもなく、助けたわけでもないのに、姿を見ていただただけで感謝の言葉をかけてもらったのです。その時、私はなんて優しく心がきれいなのだろうと思いました。そのようなことを考えると、担当の職員の方がお話をしてくださいました。「この施設に來られてる方は、皆、誰かの力を

借りなければいけない人たちだから、これからを担い、自分たちを助けようとする真剣な姿を見て、感動してしまっただろうね。君のような元気で何事にも一生懸命な姿から勇気もらったのではないかな。」

その時、初めて私の存在で感動してくれる人がいるんだと実感しました。

私は三日間、職場体験に行きましたが、毎日のように「ありがとう」と言ってくださったり、笑顔を返してくださったり、とても優しい方が多かったです。実は、職場体験に行く前は第一希望の職場に行けなかったため、三日間は長いなあ、面倒くさいなあ、早く終わるといいなあと考えていました。しかし、職場体験が終わった後は、もう少しやりたかったと寂しさを感じるほどでした。そして、今までは全く視野に入っていなかった「高齢者を助ける仕事」にも興味が出てくるようになりました。今でも時々、職場にあふれていた笑顔を思い出すことがあります。

職場体験の最終日、私は職員の方に「なぜこの仕事を選ばれたのですか」と尋ねました。すると、「とても大変な仕事だけど、自分が接することで高齢者の方が笑顔になれるから、良いことしたなとやりがいを感じる事ができる」と答えられました。その答えは私の中で何かを変えてくれました。

私は職場体験の後、少し成長したことがあります。それは挨拶をすることです。私の家の近所には高齢者の方がたくさん住んでおられるので、笑顔で自分から挨拶するようにしました。そうすると皆さんも笑顔になって挨拶を返してくれます。まだ、援助をすることは出来ませんが、できるだけ笑顔になっていただきたい、そう思うようになりました。今はまだ、大人のまねをしているだけです。いつかいろいろな人を笑顔で優しく助けられる様になりたいです。



(北城 由莉亜さん)

本会へのご寄付 ありがとうございました

(H30.12.1~2.28 現在) 【敬称略】

- 八久城地区自動車整備協議会
30,000 円
- 関西遊技機商業協同組合
車いす 1 台

寄付金は本会の善意銀行基金に積み立て城陽市内で行う地域福祉やボランティア活動の推進に、車いすは市民の方への無料貸出しや福祉教育に活用させていただきます。今後とも、ご支援・ご協力をよろしく申し上げます。

城陽市共同募金会 義援金情報

- 平成 28 年熊本地震義援金
募集期間：H28.4.15~H30.3.31
H30.2.28 現在 合計額 3,140,020 円
- 九州豪雨災害義援金
募集期間：H29.7.10~H30.3.30
H30.2.28 現在 合計額 88,837 円

城陽市共同募金会では、上記義援金を福祉センター1階の窓口で受付けており、老人福祉センターへも募金箱を設置しています。ご寄付いただいた義援金はその全額を被災された方々の生活再建のためにお届けしています。ご協力をお願いいたします。

訂正とお詫び

前回の社協だより(第122号)5ページ、「第66回京都府社会福祉大会受賞者の報告」において、被表彰者の推薦団体に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに次のとおり訂正いたします。(敬称略)

- 【誤】西浦和美(梅花園)
- 【正】西浦和美(和光会)